

令和6年度 学校に関するアンケート【教職員】 結果と分析

1. 実施について

- (1) 実施時期 令和6年 10月28日～11月15日
- (2) 実施方法 Google フォーム用いたアンケート調査
- (3) 設問数 9項目(昨年度より11項目削減)
- (4) 回答項目 「A よくあてはまる、B あてはまる、C あまりあてはまらない、D まったくあてはまらない、E わからない」の5項目
- (5) 回答率

	回答率
小学部	100%
中学部	100%
高等部	100%
合計	100%

- (6) 分析方法
ABの回答を肯定的意見、CDを否定的意見として分析

2. 昨年度との変更点

実施方法

- ・Google フォームを利用。
- ・回覧を回し、回答済の方は名前にチェック

項目

- ・学校運営に必要な項目を厳選
- ・回答者の負担軽減を考慮

3. 結果と分析

- ・回答率: 81.7%(令和5年度)→100%(令和6年度)
- ・ほとんどの項目で肯定的評価が増加。全体平均は昨年度(76%)より9.5%増加

〈特に高評価な項目〉

1. カウンセリングマインドを取り入れた生活指導(91.7%)
2. 進路選択に応じた指導(92.3%)
3. 人権尊重の姿勢に基づく指導(88.8%)

- ・3の項目については、保護者アンケートでも肯定的評価が 87.6%/と高い評価となっている。
- ・2の項目については、保護者アンケートの肯定的評価が 68.4%と低めである。

〈課題の見られる項目〉

1. 教育活動全般の評価と次年度計画への反映(69.2%)
2. 保護者・地域への情報周知(73.4%)

改善点

1. 教育活動評価と次年度への反映

教職員が評価結果を十分に把握できていない可能性がある。学校経営計画の評価について、評価内容とその反映計画を、教職員にさらにわかりやすく共有する必要がある。教職員が計画の成果を実感できるよう、振り返りの機会を増やし、小さな成果も共有すること全体で達成感を共有できる仕組みを構築していく。

2. 保護者・地域への情報周知

保護者の回答では、「学校は教育情報について、提供の努力をしている」項目で 82.7%と高評価となっているが、教職員の評価では少し低い 73.4%となっている。自由記述回答中に、「保護者の間でデジタルデバイドが感じられる時がある」という意見があった。本校では情報伝達についてデジタル化を進めているが、デジタル環境に関する不安や要望を聞き取り、必要に応じて対応策を講じていくことも求められる。

また、「保護者への情報伝達が遅いと感じる。」という意見が自由記述回答にあった。必要な情報について、タイムリーに伝えていけるよう、努めていきたい。